



日本木材学会 ダイバーシティ推進委員会 活動報告

ダイバーシティ推進委員会とは

- 2011年に発足した男女共同参画委員会は、2013年にダイバーシティ推進委員会として新たなスタートを切り、より多様な立場の方々の多様な形での学会参加を促進することを目的に、今期（2023--2024年度）は12名の委員で活動しています。
- ダイバーシティの推進に向けて様々な方策を提案していきます。例えば、女性研究者の研究継続支援のため、2014年から優秀女子学生賞を設立し、受賞者を輩出しています。
- シンポジウムなどを企画し、様々な立場の方からの話題提供や議論の機会を設けています。
- 男女共同参画学協会連絡会への出席や、ダイバーシティ関連情報の収集などに積極的に取り組んできました。



ダイバーシティ=多様性
組織の中に多様な人材がいる方が、より柔軟で発展性のある組織となると考えられています

優秀女子学生賞

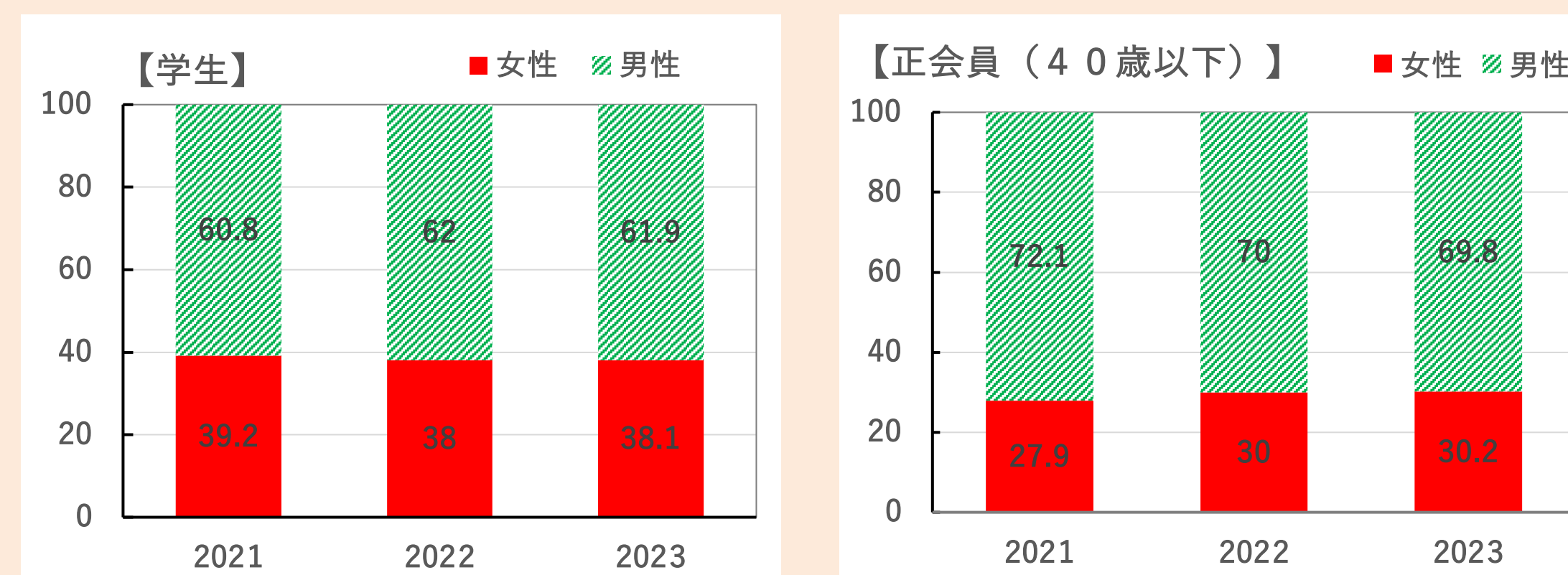
木材学とそれに関連する分野で、優れた研究業績を収めて将来を嘱望される本学会女子学生会員に授与される。2014年創設。



第9回優秀女子学生賞の副賞は、木製の名刺ケースにお名前を入れてお贈りしました。

木材学会若手会員の男女比

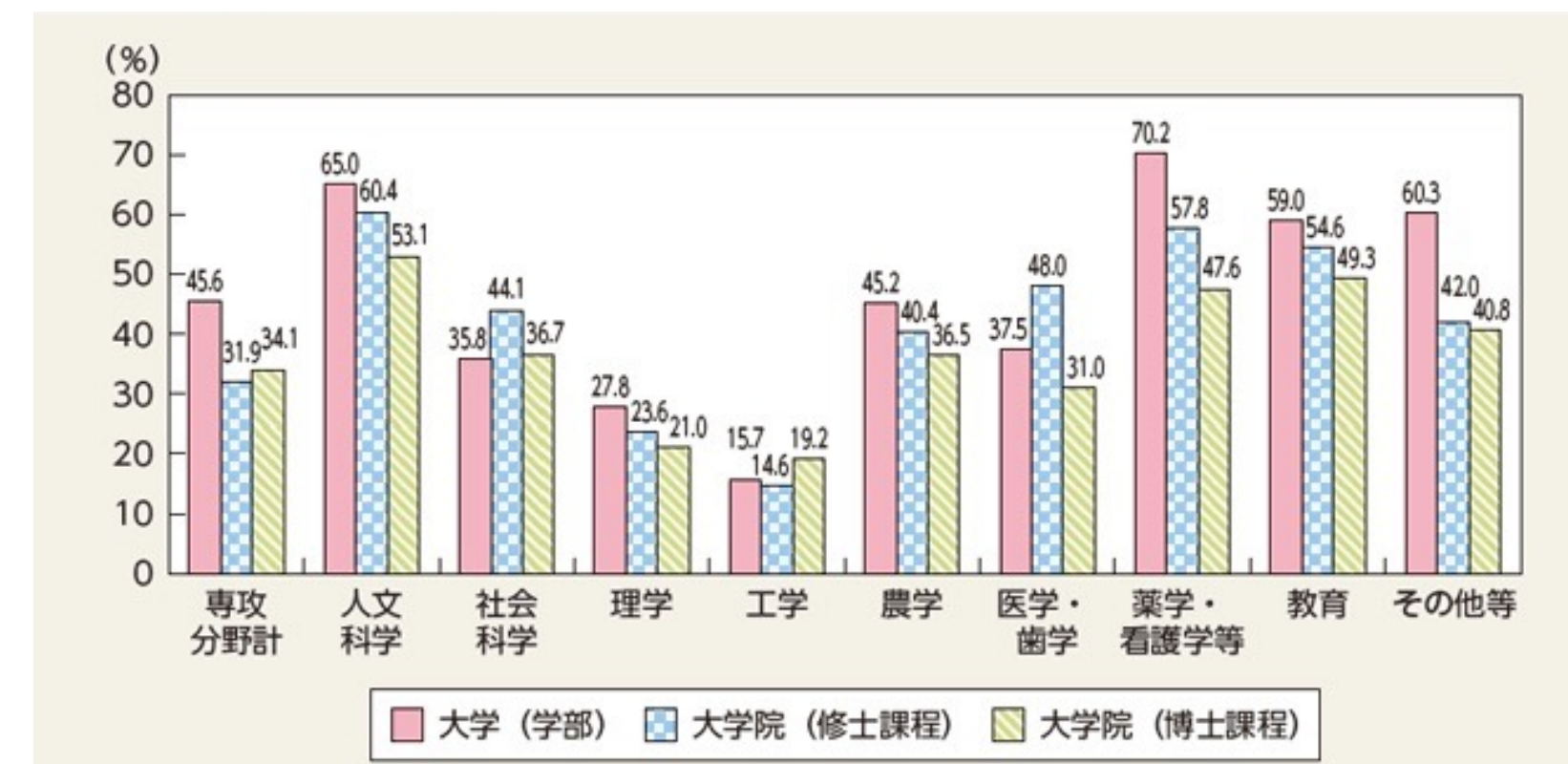
木材学会の若手会員数



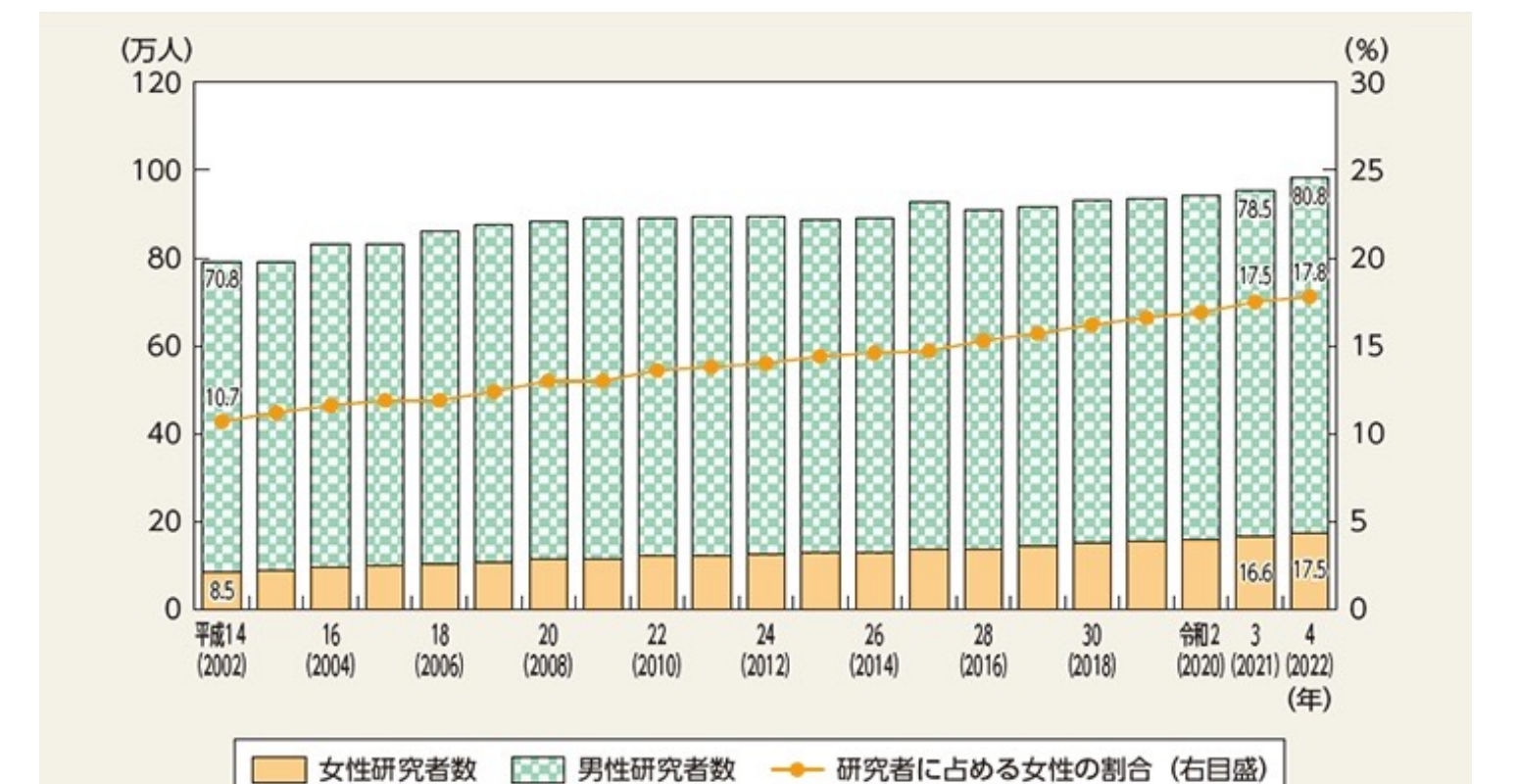
40歳以下の若手正会員の女性比率30%達成！

女性会員数は、学生では38%を超えているのに対し、正会員では10%程度減少している。

学部および大学院学生に占める女子の割合 (R3年度内閣府)



女性研究者数および女性研究者の割合 (R3年度総務省)



3月18日
13:30-15:00
@オンライン
参加費無料

今年もやります！
ダイバーシティ
シンポジウム
左のQRコードから参加登録
できます！

学会外での活動と関連情報

ダイバ-シティ推進委員会 シンポジウム

2023年は「ポストコロナを踏まえた教育・研究におけるダイバーシティの取り組み」をテーマにシンポジウムを実施しました。

日本木材学会ダイバーシティ推進委員会 公開シンポジウム
後援：(一社)男女共同参画学協会連絡会

ポストコロナを踏まえた
教育・研究における
ダイバーシティの取り組み

2023. 3. 24, FRI 13:30~15:30

講演1：科学の多様性を支える
しくみについて

並木重宏 東京大学先端科学技術研究センター

性別、人種、障害、生活状況、経済状況など、社会のさまざまな場面で多様性を重視する動きが広がっています。ここではまず、科学分野で多様性が求められる理由について考えてみます。次に、科学分野への社会的マイノリティの参加を支援するための取り組みや制度について取り上げます。また、障害のある人の科学への参加を支援する先行事例をまとめ、最後に当研究室の現在の取り組みをご紹介します。



講演2：オンラインで行った学生実験の紹介

前田 啓 (国研) 森林研究・整備機構森林総合研究所 木材改良研究領域

講演3：多様性とコロナ禍の研究、講義や実験等について

木村彰孝 広島大学大学院人間社会科学研究科

女子中高生夏の学校

(独) 国立女性教育会館主催「夏の学校」参加し、学会のポスターを展示するとともに、相談ブースに出展しています。木材ストラップの作成・配布を行い、木材学の楽しさをアピールしています。



学会外での連携

■男女共同参画学協会連絡会関連

・第20回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム：日本木材学会からは活動報告への要旨掲載を行いました。

■内閣府

・内閣府男女共同参画局のホームページや、広報誌「共同参画」に、関連する様々な情報が掲載されています。

・令和5年度の男女共同参画週間ポスターのキャッチフレーズは“無くそう思い込み、守ろう個性 みんなでつくる、みんなの未来。”でした。

■経済産業省

・「ダイバーシティ経営の推進」のホームページに、ダイバーシティ経営の定義、経済産業省の取組、新・ダイバーシティ経営企業100選、ダイバーシティ2.0行動ガイドラインなどが掲載されています。